

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年01月05日

計画の名称	男鹿市における良好な水環境の実現（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	男鹿市												
計画の目標	秋田県生活排水構想に基づき、暮らしをとりまく水環境について、下水道整備により水質を保全し快適な暮らしの実現を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	459	A	459	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	下水道処理人口普及率を68.3%（H30当初）当初）から69.2%に増加させる。	H30		H31
	下水道処理人口普及率	68%	%	69%
	下水道を利用できる人口（人） / 総人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	男鹿市	直接	男鹿市	管渠(汚水)	新設	百川地区管渠整備	汚水管 150mm、L=3538m	男鹿市						451		-	
	過疎																			
	A07-002	下水道	一般	男鹿市	直接	男鹿市	管渠(汚水)	新設	施設計画の見直し	事業計画の策定	男鹿市						8		-	
	過疎																			
											小計						459			
											合計						459			

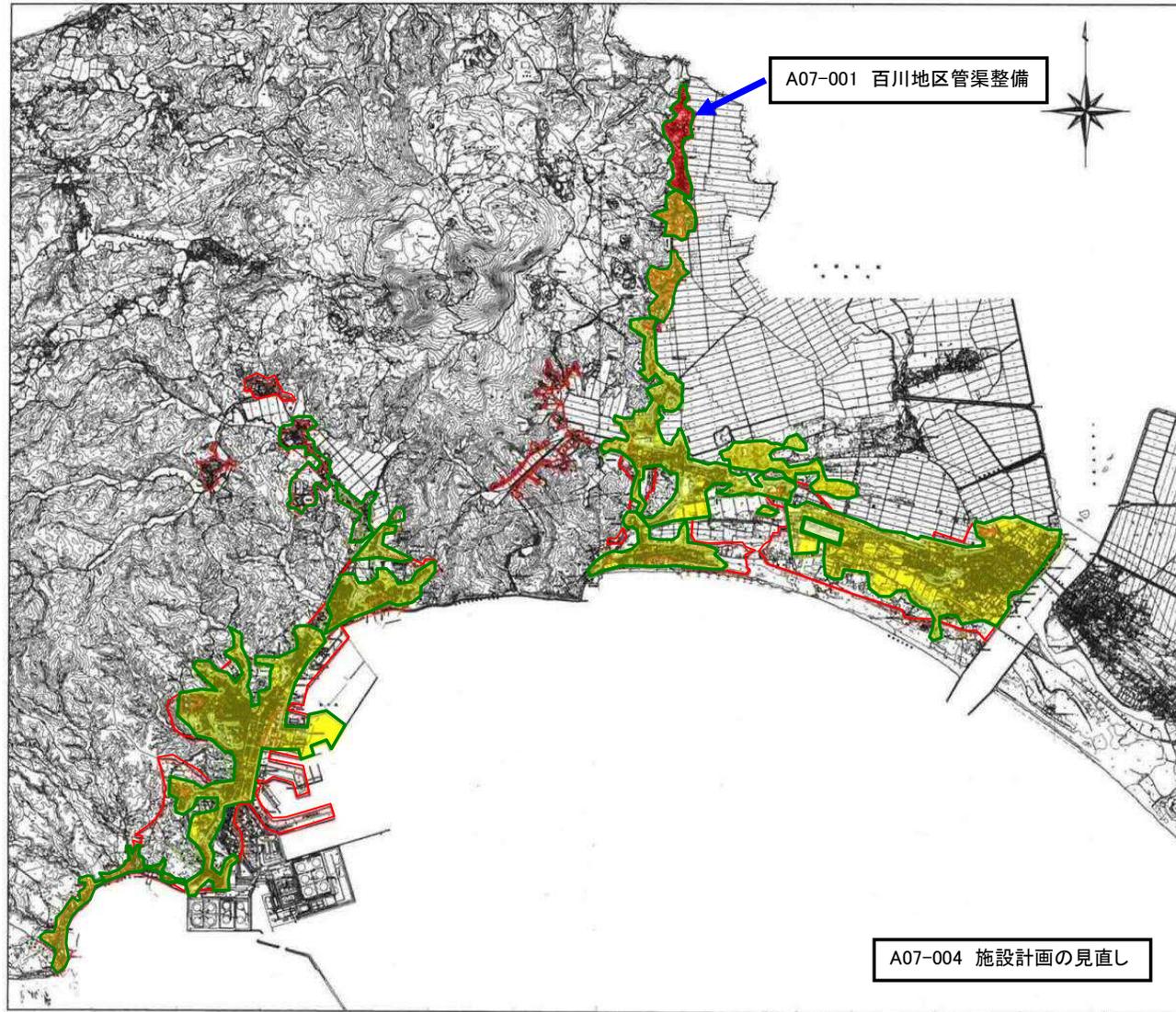
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31			
配分額 (a)	104	101			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	104	101			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	104	101			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

社会資本整備総合交付金

計画の名称	男鹿市における良好な水環境の実現(重点計画)	交付対象	男鹿市
計画の期間	平成30年度 ~ 平成31年度 (2年間)		



凡	例
	全体計画区域
	認可計画区域
	既整備区域
	計画区域

事前評価チェックシート

計画の名称： 男鹿市における良好な水環境の実現（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 計画の目標が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
II. 計画の効果・効率性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 円滑な事業執行の環境 3) 関連する機関との調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) 事業に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 継続的な事業の展望が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
III. 計画の実現可能性	
III. 計画の実現可能性	

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

III. 計画の実現可能性